



『いあいさつ』



同窓会会長
高橋 安之

これからの一年、どんな一年になると思いますか。平成二十二年の暮れから大雪で岩手県の北部において倒木や多くの道路で通行止めとなる災害が発生し、復旧作業に関わりクリスマスや正月もない経験を経験を初めてしました。

また、三月十一日に発生しました巨大地震では、東北から関東の広い範囲で大きな揺れと大津波に襲われました。三陸沖を震源とする巨大な地震・津波は過去にもあったようですが、これほど巨大なものではな

く、未曾有の大惨事となりました。

そして、七月には新潟・福島の間で集中豪雨が発生、さらに九月には紀伊半島が台風十二号により大雨で大きな被害を受けました。日本国中、一年間にわたり大きな災害に見舞われた年となりました。人間の力が及ばない現実を突きつけられました。被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

その中でも東日本大震災は、命や財産を奪ったばかりか生きていく上での意欲

発行
岩手県立花北青雲高等学校
青雲同窓会
〒028-3172
岩手県花巻市石鳥谷町
北寺林11地割1825番地1
TEL 0198 (45) 3731
FAX 0198 (45) 3746
発行人
会長 高橋 安之

までも低下させ、震災前と震災後では物事の考え方も将来の展望がまったく違ったものとなってしまい、人生を変えられた人、生活を変わらせた人、そして何も変わっていないようでも精神的に影響を受けるなど、日本国中で影響のない人はいないのではないのでしょうか。

震災復旧に行った際、その場所が以前は何があったのか思い浮かばず、自分がどこに立っているのか全く思い出すことが出来ませんでした。

その様な状況において自衛隊の方々や行政、ボランティアの力でがれきの片付けが道路から行われ、そして敷地内へと徐々に行われ、運び出され、大きながれきの山と化しました。この間、全国から交通整理・

防犯警戒に駆けつけた警察官、給水にあたってくれた自治体職員など多くの方々の努力で片付いていく様子を見てきました。

日本のみならず世界各国・各地からの支援や被災地住民の支えあいを目の当たりにし、平成二十三年の世相を表す漢字が『絆』に選ばれたのもうなずけました。

私も被災地では、作業をしている時に知り合いと出会ったり、親戚のお手伝いに行ったりしました。そして、年末に復幸（復興）に向けた活動で仮設住宅を訪ねた際には友人と会い、握手することしか出来ませんでした。思ったが、思いがけない再会に友人も「よく来てくれた。遠くからよく来た。俺は元気だ。なつかしい、なつかしい。」と喜んでくれました。私にとつての平成二十三年の漢字は「会」だったかもしれません。

この震災、片付けて終わりではなく、これからがスタートです。学校の校庭や空き地に仮設住宅が建設され、住まいとしているもののあくまで仮のもの

です。これからの一年を考えるとき、被災地の復興計画や就業の機会、加えてヨーロッパや中国の景気動向と、国内外の政治経済情勢などが先の見えない状況にあり、日本全体が厳しい年になると予想されます。

しかし、何かあっても時は進みます。多くの人は被災地のために何か自分出来ることはないかと行動し、その中で人と人との間で心の通いがあり、震災によつて人の心を教えてもらったような気がします。

これからの助け合うという気持ちが大切であり、その気持ち忘れずに持ち続け、見通すことの出来ない明日に向かって歩んでいくことが大切かと思えます。

最後になりましたが、多くの皆さまには日頃から同窓会活動に對しまして、あたたかいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本校も二年後には開校四十周年を迎えようとしており、今後とも本校ならびに同窓会に對しまして変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

命、家族の絆、助け合いの心



花北青雲高等学校

校長 在原 眞

同窓会の皆様には、日頃、花北青雲高等学校の教育活動に、ご支援、ご協力をいただいております。厚く御礼を申し上げます。

平成二十三年三月十一日、私達は、生涯忘れることが出来ない東日本大震災を経験しました。三陸海岸の美しい風景は、大津波により一瞬のうちに豹変し、多数の人々を海に呑みこみこみました。その辛く苦しい体験を通して、私は、命、家族の絆、助け合いの心、地域のつながりなどについて深く考えさせられました。

改めまして、東日本大震災により亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様

に心からお見舞いを申し上げます。

また、昨年十二月二十六日に急逝なされた故松田和宏副会長様のご冥福をお祈り申し上げます。さて、家族の絆というこ

とについて、総合生活科二年D組の小原佑希子さんは、昨年十月二十六日に開催された岩手県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会で、「おばあちゃんの笑顔を見たいから車いすの改善を通して」と題して発表を行いました。

明るさを取り戻してもらいたいと思い、家族全員で車いすの生活の改善に取り組みました。

家族が丸となって取り組んだ結果、おばあさんの生活に少しずつ笑顔が増えってきました。小原さんが岩手県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会の代表として第五十九回東北ブロック高等学校家庭クラブ連盟発表大会に参加した当日、会場に車いすのおばあさんの姿がありました。結果発表で小原さんが、最優秀賞を受賞し、全国大会出場が決定した時、おばあさんは満面の笑みを浮かべました。

昨年十二月二十二日に、本校は大槌高等学校二年生四名と教員を招待し、総合生活科三年生と交流会を実施しました。心温まる良い会でした。その交流会の様子は、岩手日報などに掲載されました。

「全国からたくさんの方の支援を頂いたが、皆さんに震災のことを忘れないで欲しい。」と答えました。

私はその言葉を聞いて、ハッとしました。それは、自分の心の中で、震災はもう過去のことだと、思っている節がある自分に気づかされたからです。

私の日常では、震災に関する話題はめっきり減りました。東京に出張し、東京の繁華街を歩いていると、震災が起こったことは外国の話ではないのか、と錯覚に襲われる時があります。

震災直後、被災地にはボランティアの人達が押し寄せました。現在は、ボランティアの人達が激減しているそうです。正月を過ぎて、ボランティアの人達が集まるかどうか心配している被災地も多い、とニュースで報じていました。

我々人間の性として、過去の出来事を忘れてしまうのは、致し方無いことだと思います。しかし、浪板君の

言葉で、同じ岩手に生まれ育ったものとして、私は三月十一日の次のような体験は風化させてはならないと改めて思いました。

第一に、三月十一日以降、停電、物資の輸送障害などにより、今まで当たり前だと思っていた生活ができなくなったこと、電灯の消えた夜が、あんなにも暗いものであることを実感したこと。第二に、家族、親戚、友人が亡くなり、愛別離苦の苦しみにもがいている多くの人がいること、その心の傷は、容易に癒すことが出来ないものであること。第三に、被災地の高校生が、四ヶ月以上も学校の体育館で不自由な避難所生活をしたこと、今でも寒い仮設住宅に暮らしていること。第四に、被災地の復興は、十年以上かかること。これらの事実は、同じ岩手県人として風化させてはならない、そして、被災地域の復興のために、未永い支援をこれからもしていかなければならない、と自分

に言い聞かせました。

同窓会の皆さんも、三月十一日の体験を風化させず、私も含めてお互いにこれから被災地域への永永い支援活動をお願いいたします。同窓会にも協力をお願いすることがあると思っておりますので宜しくお願い致します。

平成二十三年度、生徒達は文武両道に一生懸命頑張ってくれました。昨年七月に「北の空 君に無限の可能性」をスローガンに、北東北三県（岩手、青森、秋田）を会場として、平成二十三年度全国高等学校総合体育大会が開催され、バドミントン部が出場しました。第六十三回岩手県高等学校総合体育大会では、バドミントン競技男子学校対抗優勝、サッカー競技女子準優勝など各部が活躍しました。簿記、珠算、情報処理の部門で全国大会に出場しました。厳しい高校生の就職環境の中で、就職内定率は九十八%に達しました。進学面では、四年生国

公立大学に九名、明治大学に二名が合格しました。坂の上の雲を目指して、頑張っている生徒達へ、皆様の激励を宜しくお願い致します。

結びになりますが、平成二十六年は花北青雲高等学校創立四十周年の年になります。同窓会の皆様には一層のご支援、ご協力をお願いします。飛龍の年における同窓会の皆様の益々のご活躍を祈念申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。



青雲講演会

「矛盾（本音と建前）」と題して

平成二十三年十月二十日
本校体育館を会場に
青雲講演会が開催されました。

青雲講演会では、身近な存在である本校の卒業生を講師に、様々な経験や思いを全校生徒に話していただいております。今年も第八回目となり、昭和六十年卒業の薄衣淳さんにご講演いただきました。薄衣さんは、現在司法書士事務所に勤務しており、他にも岩手県サッカー協会の理事・フットサル委員長を務めていらつしやいます。

講演では、高校在学当時の思い出や、サッカーとの関わり、社会に出てから感じる様々な矛盾についてなどお話しいただきました。学校生活での思い出では、公務員課外のため東和町から自転車通学した日々、生徒会長でありながら生徒会室立入禁止となった事件、創設二年目で全く勝てなかつた部活動（サッカー部）など懐かしい思い出をたくさん話していただきました。また、薄衣さんが実際社会に出て感じた矛盾のお話では、県職員時代からさまざまな矛盾を感じてきたが、実は法律にも矛盾（相反する部分）が存在していること。そういうことが世の中にはたくさんあるのだと話しておられました。生徒たちへは、物事を無

条件に信じることはせず、きちんと自分で判断が出来る人になってもらいたい。判断にはたくさん悩んで、結論を出すこと。そして決して自分の出した答えには後悔しないしてほしいと伝えておりました。

これから社会へと踏み出し、自分の道を行く生徒たちにとって貴重なお話となりました。どうもありがとうございました。

同窓会事務局より

不審な問い合わせに注意を

最近、何者かが青雲同窓生を名乗り、同窓会員や家族に対して名簿作成などに関するダイレクトメールや電話があるようです。不用意に返信しますと個人情報漏洩し、他の目的に使用される可能性もありますので十分にご注意ください。当同窓会では、今後

も含め、直接同窓生に対し、そのような活動は一切致しておりません。もし、

住所変更の連絡にご協力を

同窓会の大きな役割として、同窓会名簿の整備作業があります。これは同窓生の皆さんへの連絡をスムーズに行うために不可欠なものです。

引越・転勤・婚姻等により登録内容に変更が生じましたら、お手数ですが事務局までご連絡ください。

青雲同窓会総会

平成二十三年八月二十七日(土)、青雲同窓会総会が花巻温泉ホテル紅葉館で開催されました。

議事事項はすべて承認され、懇親会は和やかな雰囲気で行われました。同窓生はさまざまな年代が入り交じり、先輩方から聞く当時の話に耳を傾け、また同級生同士の話題で盛り上がり、楽しい時間を過ごしたようでした。



青雲同窓会東京支部総会

平成二十三年六月十八日(土)、青雲同窓会東京支部総会が東京有楽町大雅で開催されました。

今年度は震災の影響で開催の延期等も考えられましたが、JRの復旧もスムーズに進み、無事例年通り開催することができました。

新会員の参加は少なかつたものの、参加者は予定数を越え、いつもの会場は満員となりました。震災後の仲間を気遣い、久しぶりの再会に話が尽きない様子でした。



平成23年度 事業

〈平成23年〉

- 4月15日(金) 入学式
- 5月20日(金) 第1回理事会 於 新ばし (市内)
- 6月18日(土) 東京支部総会 於 大雅 (東京有楽町)
- 7月12日(火) 第2回理事会 於 本校青雲会館
- 8月27日(土) 定期総会 於 ホテル紅葉館 (花巻温泉)
- 10月20日(休) 青雲講演会 於 本校第一体育館
薄衣淳さん (S60年度卒業)

〈平成24年〉

- 1月19日(休) 第3回理事会 於 本校小会議室
- 2月29日(休) 同窓会報第32号発行
- 同窓会入会式 於 本校多目的教室
- 3月1日(休) 卒業式
- 4月上旬 会計監査

同窓会員から

昭和四十四年度卒

ペンネーム 夜間店長

平成二十三年八月二十七日
(出) 花巻温泉紅葉館に於いて、何年振りでしょうか？今年還暦を迎えたという事で、昭和四十四年度卒業生全員へ案内状を送付し、A組幹事 ○○○○、B組幹事 △△△△と実名が付け加えていた為、幹事へTEL確認をしたところ行けないとの返事でしたが、どちらかが出席しなければ幹事名を見て、参加してみようと思った人が、どちらかがそこに居なければ、無責任？(昔から無責任でしたが)だと思われたくなくて、出席を決めました。

自分たちからは改めて同期生へ連絡通知はしていなかったが、少ないとは思っていましたが、何と四人〜六人？も来てくれたではありませんか？(笑) というのも、還暦祝いには各中学校で行っていた為に、遠方の人への配慮から、高校時代の還暦祝いは、来年の二十四年の後祝いと考えていた為でした。

と、ここまでは言い訳でありまして、本題の総会から懇親会への流れの中で、昔の自分が同窓会副会長時代の事や、年に数回、役員会に出席したり、同窓

会の案内状の作成や封筒への袋詰め作業や切手貼りなど、おしやべりをしながらの作業が楽しかった事、東京支部の総会へ参加したり、花高賛歌(現在は無いと思う)を、肩を組んで歌ったりと思ひ出されました。

さて、今年の会ですが、一期先輩(四十三年卒)の方々が比較的多かった事など、二十代、三十代、四十代、五十代とそれぞれ年代を越えての親睦で上下関係を感じない、ザックバラんととても楽しい会でした。私に限らず、全員そう思ったと確信し、次回からは同期を誘い合つて、年に一度のこの総会を更に盛り上げ、参加者の拡大に努めていきたいと思いました。

今回参加した皆様、又、来年も元気に再会できますように精進していきますよ。

ここで、私が毎日口ぐせの様にして居る不思議な呪文を紹介いたしますよ。

「今日はいいい日だ！ついで、うれしい、楽しい、幸せ、感謝します。ありがとう、許します」

皆さんも口に出して言ってみて下さい。いい事がきつとありますよ。

この言葉をもつて、報告いたします。

同窓会はいいいもんだ
あつという間に青春時代
同窓会はいいいもんだ
上下関係の垣根無し
同窓会はいいいもんだ

若者の話題が、心地良く、今の時代が良くわかる
同級会とは、又、違う楽しさで、先輩・後輩との
嬉しいパーティ!!
同窓会はいいいもんだ
帰る頃には心がスツキリ
日本晴れ!

昭和四十七年度卒

荒瀬富姫子(旧姓高橋)

イーハトーブ大使

毎年六月第三土曜日。東京支部の同窓会に、ここ十年毎回出席しております。それ以前は名簿上不明扱いになっていたもので、会の事は知らずにおりました。ある年、同級生に「あなた行方不明になってるよ」と知らされ、自ら学校に問い合わせた。出席するようになりました。不明扱いになっていたのは、七回の引越越して住所が転々としていた為でした。昨年の同窓会で姉(姉も三級上の同窓生)の同級生で、現在福岡県にお住まいの方とお話できました。私も主人の転勤で福岡県北九州市小倉に二年半居ました。二十七年前ですが、文化の違いを感じた所であります。

最近節分の日に大巻寿司を食

べる習慣が全国に広まりつつあります。私が小倉にいた時の節分の日、洋品店・文房具店・パン屋等、日頃食品に無縁なお店の店頭にごぞつて巻寿司が並んでいました。恵方巻を知らなかった私は、びつくり!! 社宅の奥様(広島出身)が恵方巻がどういう物かを教えてくれました。その年の恵方に向かって巻寿司を一本丸ごと食べきる・勿論切つてはいけない(良い事を切る、縁が切れる)・食べている間は話をしてはいけないなど。豆まきは前でも後でもその家庭の事情で。小さい子供には、小さいサイズで売っている物もあり、家で巻くもありとのこと。次の日、商店街は何もなかったように節分前の状態に戻ってました。東京に戻って、節分には恵方巻はありませんでした。唯一小僧寿司(関西)が扱っていたので、自転車で行ってました。以来我が家の行事の一つになっていきます。

現在の仕事(デバ地下の催事の世話など)では、ここ数年節分の日には恵方巻を販売します。一日中目が回るぐらい忙しいです。それぞれのテナント(寿司・弁当等)や、洋・和菓子店でも恵方巻に見立ててロールケーキなどを販売します。寿司関係は一年で一番の売上です。全国に広めたのは、セブンイレブン等のコンビニ、一説には海苔業界が仕掛けたとも。:

山形県の庄内地方では、節分

蕎麦と言つて、蕎麦を食べる習慣があるそうです。節分の日を大晦日と同じように考え、年越そばと同様に食すそうです。この狭い日本でも、色んな食文化があるんですね。私が育つた頃はお肉といえば鶏肉(家でつぶした)、豚肉くらいで、牛肉はテレビの中の外国人が食べているステーキしか思い浮かばなかった時代。山口県出身の主人に出会って、肉はカレーも肉じゃがも野菜炒めも牛肉なんです。主人の実家の近所の肉屋では「お肉」は牛の事で、豚肉は「豚」って言わないと買えなかつたんです。豚挽肉は無く、豚コマ他を買つて、その場で挽いてもらいました。だから、関西では「肉まん」を「豚まん」って呼びます。

職場では色んな地方の名物・名産品を催事場で販売します。販売員さんも地方から見えます。お陰様で色んな意味で勉強になります。

又、東京支部同窓会でお会いしましょう。



平成23年度民間就職・公務員・進学内定状況(2月9日現在)

岩手県立花北青雲高等学校

種別	区分	職種	県内		県外		種別	区分	職種	県内		県外	
			男	女	男	女				男	女	男	女
【金融・保険業】						【公務員】							
(株)岩手銀行[ピ2]		事務		2			岩手県一般事務[ピ2]			2			
西京信用金庫[ピ]		事務			1		岩手県警察事務[ピ]		1				
小計						公務員最終合格者数							
3						17							
【卸売・小売業】						公務員内定者計							
(株)花果[総]		事務		1			9	3	4	2	0		
(有)ハウディ館[ピ]		販売		1			民間就職・公務員内定者総計						
(株)リードコナン[情]		営業	1				82	25	32	16	9		
(株)岩電[情]		運搬	1				【大学】						
(株)LEP INTERNATIONAL[総]		事務		1			福島大学 人文社会学群経済経営学類[ピ]						
(株)ヨークマート[ピ]		販売			1		釧路公立大学 経済学部経営学科[ピ]						
(株)コメリ[情]		販売			1		青森公立大学 経営経済学部地域みらい学科[ピ]						
(株)キクコストア[総]		販売		1			岩手県立大学 総合政策学部[ピ]						
(株)ベルプラス[総]		販売		1			岩手県立大学 ソフトウェア情報学部[情1][ピ2]						
(株)ビックカメラ[情]		販売			1		岩手県立大学 社会福祉学部福祉臨床学科[総]						
(株)みずかみ[ピ]		販売			1		岩手県立大学 社会福祉学部福祉経営学科[総]						
ハッピー・オート[総]		事務		1			北翔大学 生涯スポーツ学部[ピ]						
(株)今弘スチール[ピ]		事務		1			八戸工業大学 感性デザイン学部[ピ]						
小計						盛岡大学 文学部日本文学科[ピ]							
13						盛岡大学 文学部児童教育学科[情][ピ]							
【サービス業】						富士大学 経済学部[ピ2]							
花巻農業協同組合[ピ3]		事務		3			東北文化学園大学 総合政策学部[ピ]						
(株)新鉛温泉[ピ]		事務		1			東北生活文化大学 家政学部						
山の神温泉 幸迎館[ピ]		サービス		1			仙台大学 体育学部[ピ2]						
花巻温泉(株)[ピ]		サービス		1			石巻専修大学 経営学部経営学科[ピ]						
(株)ヒラトヤ[総]		サービス		1			福島学院大学 福祉学部福祉心理学科[ピ]						
戸田中央医科グループ[ピ]		事務			1		明治大学 商学部商学科[ピ2]						
ジェイアンドケー[総]		サービス			1		立正大学 経営学部経営学科[ピ]						
日揮プラントソリューション(株)[情]		技術	1				駿河台大学 心理学部[ピ]						
(株)カナモト 東京事業本部		技術	1				大阪経済法科大学 法学部[情]						
(有)デナップ岩手		労務		1			小計						
12						28							
【製造業・建設業】						【短期大学】							
(株)アイオー精密[情]		技能	1				岩手県立大学盛岡短期大学部 食物栄養学科[総]						
イーエヌ大塚製薬(株)[総]		事務		1			盛岡大学短期大学部 幼児教育学科[ピ1][総4]						
イーエヌ大塚製薬(株)[情]		技能	1				青森明の星短期大学 子ども学科[ピ]						
(株)デンソーホールディング東北カルバセンター[情]		技能	1				東北女子短期大学 生活科[総]						
リコー光学(株)[ピ2]		技能	1	1			日本赤十字秋田短期大学 介護福祉科[総]						
東北日東工業(株)[ピ]		技能	1				仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科[ピ]						
和同産業(株)[情]		技能	1				岩手県立産業技術短期大学校[情][ピ]						
(株)TSD[総2]		技能	2				小計						
(有)COS工業[ピ]		技能	1				12						
(株)セイワ[総]		技能	1				【専門学校】						
(株)アイメタルテクノロジー[情2]		技能	2				花巻高等看護専門学校[ピ2]						
アートテックス(株)		技能	1				岩手県立千厩高等技術専門学校 自動車システム科[情]						
イワテ・プリミート(株)[ピ]		技能	1				盛岡公務員法律専門学校[ピ7]						
(株)岩手畜産流通センター[情]		技能	1				盛岡情報ビジネス専門学校[ピ2][総1]						
関東自動車工業(株)[情]		技能	1				盛岡医療福祉専門学校[ピ2][総2]						
ケミコン岩手(株)[情2]		技能	2				盛岡ペットワールド専門学校[ピ]						
塩野義製薬(株)[情]		技能	1				盛岡社会福祉専門学校[ピ]						
(株)十辰製作所 岩手工場[情]		技能	1				北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ[情][総]						
トヨタ紡織東北(株)[情3]		技能	3				北日本医療福祉専門学校[総]						
ホクト(株)[総]		事務		1			専修大学北上専門学校[ピ2][総5]						
敷島製パン(株) 東京事業部[ピ]		技能			1		北上コンピュータ・アカデミー[情]						
住友金属工業(株)鋼板・建材カンパニー鹿島製鉄所[総]		技能			1		宮城調理製菓専門学校[総]						
デー・ティー・ファインエレクトロニクス(株)[情2]		技能			2		東北文化学園専門学校[総]						
日産自動車(株)[情]		技能		1			埼玉ベルエポック専門学校[総]						
ホンダエンジニアリング(株)[情]		技術		1			ESPミュージカルアカデミー[ピ]						
水戸工業(株)[ピ]		事務			1		国際マルチビジネス専門学校[ピ]						
山崎製パン(株)[総]		技能		1			東京コミュニケーションアート[情][ピ]						
(株)きんでん[情]		技能		1			東京ビューティーアート専門学校[情]						
サンライズ・エンジニアリング(株)[情]		技術		1			東京フード製菓中医薬専門学校[総]						
(株)TBC[ピ]		技術		1			文化服装学院[総]						
小計						ミス・パリ・ビューティー専門学校[総]							
37						パンタンデザイン研究所[総]							
【電気・ガス・熱供給・水道業】						千葉医療福祉専門学校[ピ]							
東北電力(株)[ピ]		事務			1		アルファジャパン美容専門学校[総]						
東北電力(株)[情]		技術			1		小計						
東京ガス(株)[ピ]		技術			1		43						
小計						進学合格者総計							
3						83							
【情報通信・運輸業】						民間就職・公務員・進学内定者総計							
トッパン・フォームズ・オペレーション(株)[情1][ピ2]		技術		2	1		165						
岩手県北自動車(株)[総]		サービス		1			37						
IGRLいわて銀河鉄道(株)		輸送	1				69						
小計						29							
5						30							

[情]=情報工学科、[ピ]=ビジネス情報科、[総]=総合生活科

豊かな食 定着提案

学校家庭クラブ活動の部で最優秀賞に輝いた花北青雲の発表



花北青雲 最優秀に輝く クラブ発表大会 2部門独占の快挙

第61回県高校家庭クラブ連盟研究発表大会(同連盟主催)は26日、花巻市北湖口の県生涯学習推進センターで開かれた。2部門に所属する12クラブ、個人が出場し、地域貢献を柱にした衣食住さまざまなテーマで研究成果を発表。審査の結果、学校家庭クラブ活動の部で花北青雲、ホームプロジェクトの部で同校の小原佑季(2年)が最優秀賞に選ばれ、東北大会への出場権を獲得した。両部門の最優秀賞を同一校が占めたのは37年ぶりの快挙。

同連盟は県内高校家庭クラブの相互発展を図るために組織されており、学校の部には花北青雲と金ヶ崎入船渡、金石、平館、福岡の各校生徒が

岩手日日
2011年(平成23年)
10月27日(木)

新聞記事より

一人ずつ登壇した。花北青雲は学校の部で、子供の豊かな食生活の定着が地域へもたす好循環をテーマに発表。聞き取り調査で幼児が好物と嫌う物を調べた上で、遊びながら正しい食生活意識が醸成できるオリジナルかるたについて発表した。かるた遊びから派生して幼児にも親しみやすいおやつ作りに挑戦した点、遊びを関連各施設に広げることで地域貢献につなげる狙いなど、幅広い観点で高評価を得た。

一方、ホームプロジェクトの部の小原さんは、車椅子生活を送る祖母のための研究について発表。一家の団欒に加わりやすくするための車椅子が好物と嫌う物を調べた上で、遊びながら正しい食生活意識が醸成できるオリジナルかるたについて発表した。かるた遊びから派生して幼児にも親しみやすいおやつ作りに挑戦した点、遊びを関連各施設に広げることで地域貢献につなげる狙いなど、幅広い観点で高評価を得た。

瀬川さん(花北青雲) 最優秀 福祉面の地域づくり提言

いわて高校生小論文コンクール



小論文コンクールの表彰状を手に受賞を喜ぶ瀬川さん

いわて高校生小論文コンクール(県立天主権)で、県立花北青雲高の瀬川友香さん(3年)が最優秀賞を受賞した。「まちづくりと地域づくり」のテーマに対し、社会福祉と地域活性化、自らの夢などを盛り込んだ構成力が光る受賞作。瀬川さんは「最優秀賞と聞いてびっくりしたが、自分の思いを分かっただけで、将来は岩手のために役立てるようになりたい」と話し、受賞を喜んでいる。

本県の高校生が古里の未来や、望ましい将来の姿を文章で論じるコンクール。募集は2010年度から、県立天の高大連携事業の一環として取り組まれている。今年度は34編の応募があり、最優秀賞と優秀賞(2編)、佳作(7編)の計10編が選ばれた。

瀬川さんは「社会福祉の面から考える地域づくりが大切だ。以前からボランティアが好きで、福祉活動に関心をもちたい」と力強く結んだ。

瀬川さんは「社会福祉の面から考える地域づくりが大切だ。以前からボランティアが好きで、福祉活動に関心をもちたい」と力強く結んだ。

岩手日日
2011年(平成23年)11月2日(水)

新聞記事より

菓子販売の益金贈り応援

大槌高生と交流会

花北青雲高

県立花北青雲高校(在真校長、生徒476人)は10日、東日本大震災で被災した沿岸部の高校生との交流会を花巻市石鳥谷町の同校で開いた。県立大槌高校の2年生4人を迎え、避難所での体験活動などを聞いた。「心の支え役人からの励みだった」「震災語り継いでいきたい」という4人。花北青雲高の生徒たちからは、学園祭を販売したりジュナル菓子の益金が贈られた。

被災体験 心に刻む



花北青雲高は10月の学園祭で、総合生活科の3年生4人がオリジナル菓子のグッズを販売。売上金約9万円を、貧しい国の子供の救済と東日本大震災の被災者支援に充てることを決め、このうち3万円を日本ユニセフ協会に寄付した。

もう一方の被災者支援については、義援金の寄付と併せ、大槌高の生徒を招いての交流を企画した。同科の授業「生活産業経営実践」の中で交流会が持たれ、大槌高からは普通科2年で家庭科を履修している浪板拓朗君(17)、岩間徹君(16)、三浦早織さん(17)、小林瑞季さん(17)の4人が引率の小泉富美子家庭科教師と訪れた。

自己紹介をした後、花北青雲高の生徒たちが総合生活科の取り組みについて発表。続いて大槌高の4人が「避難所になった学校。僕たち私たちが」と題して被災した体験を

被災した大槌高の生徒4人を迎えて意見交換した花北青雲高の交流会

岩手日日

2011年(平成23年)12月20日(火)

報告した。

4人は「大槌の街があつた瞬間に津波にのまれ、学校への避難者は900人になった」「支援物資の仕分けから布団、毛布の運搬、食器洗い、避難者番号作りなどを手伝った」などと伝えた。意見交換での質問に対しては、「4カ月以上も学校休んで避難所生活をつらしいけど、寒い」支援をたくさん頂いたが、震災のことを忘れないでほしい」と語った。義援金は、代表して浪板君に6万円(自録)が手渡された。浪板君は「被災地のことを伝えられて良かった。亡くなった人たちの分も必死に生きようと思つ」と強い決意も伝えていた。花北青雲高の菊池里佳子さん(18)は「震災での行動を聞いて、とても心に響いていきたい」と話した。

平成23年度部活動成績

●●●全国大会出場●●●

〈男子バドミントン部〉

平成23年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技
学校対抗

ダブルス 室岡・筑後

第66回国民体育大会バドミントン競技
少年男子に室岡大晶・筑後和が
出場

〈女子バドミントン部〉

平成23年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技

ダブルス 小笠原理・小笠原溪
シングルス 小笠原理

〈珠算部〉

第58回全国高等学校珠算競技大会出場
菊池春花・小林瑞生





第40回東北高等学校選抜バドミントン大会
学校対抗

〈女子バドミントン部〉

平成23年度東北高等学校総合体育大会
バドミントン競技

学校対抗
ダブルス 小笠原理・小笠原溪
シングルス 小笠原理 小笠原溪
第40回東北高等学校選抜バドミントン大会
学校対抗

〈女子サッカー部〉

全日本高等学校女子サッカー選手権大会
東北地域大会出場



〈文芸部〉

第2回富士正晴全国高等学校文芸誌賞
一次選考通過

第11回全国高校生童話大賞
銅賞(佳作) 2C 中野 沙紀

〈ビジネス情報科〉

第27回全国高等学校簿記コンクール
個人の部出場 佐々木 翠

第23回全国高等学校情報処理競技大会
個人の部出場 川村 勝也

●●東北大会出場●●

〈男子バドミントン部〉

平成23年度東北高等学校総合体育大会
バドミントン競技

学校対抗
ダブルス 室岡・筑後
シングルス 室岡

〈陸上競技部〉

平成23年度東北高等学校総合体育大会
陸上競技

女子やり投げ 12位 伊藤 沙織
東北新人大会
女子やり投げ 16位 伊藤 由紀

〈珠算部〉

第38回東北六県高等学校珠算・電卓競技大会出場
小林瑞生・伊藤由樹菜

〈〇A部〉

第49回東北六県高等学校ワープ口競技大会
団体の部 第5位

〈文芸部〉

第13回全国高等学校文化連盟北海道・
東北文芸大会宮城大会参加

〈総合生活科〉

東北ブロック家庭クラブ連盟研究発表大会
ホームプロジェクトの部 最優秀賞

小原佑季子
学校家庭クラブ活動 優秀賞



●●県大会入賞●●

〈男子バドミントン部〉

平成23年度岩手県高等学校総合体育
大会バドミントン競技

学校対抗 優勝
ダブルス 優勝 室岡・筑後
シングルス 3位 室岡

新人大会

学校対抗 準優勝
第12回岩手県高等学校選抜大会
学校対抗 準優勝

〈女子バドミントン〉

平成23年度岩手県高等学校総合体育
大会バドミントン競技

学校対抗 準優勝
ダブルス 優勝
シングルス 優勝 小笠原理・小笠原溪

第3位 小笠原 理
第3位 小笠原 溪

〈女子サッカー〉

平成23年度岩手県高等学校総合体育大会

準優勝
岩手県高等学校新人大会
準優勝

〈ソフトボール部〉

岩手県高等学校新人選抜ソフトボール大会
第1位

〈柔道部〉

第63回岩手県高等学校総合体育大会
女子個人 準優勝 鎌田 望結

平成23年度全日本ジュニア男女体重別
柔道選手権大会岩手県選考会
女子個人48kg級 優勝 鎌田 望結



〈陸上競技部〉

高校総体

女子やり投げ 1位 伊藤 沙織

団体選考会

3部男子砲丸投げ 3位 及川 勝裕
8・9部やり投げ 1位 伊藤 沙織

〈珠算部〉

岩手県高等学校珠算・電卓競技大会

珠算部門

団体 第2位

個人総合 第3位 菊池 春花

伝票算 第2位 小林 瑞生

応用計算 第3位 菊池 春花

読上算 第3位 伊藤由樹菜

〈〇A部〉

岩手県高等学校ワープ口競技大会
団体の部 第3位

岩手県高等学校新人ワープロ競技大会

- 団体の部 第2位
- 個人の部 第2位 八重樫晴香
- 第6位 照井はなこ
- 正確賞 照井はなこ
- 阿部沙希恵
- 藤原 まみ



〔文芸部〕

岩手県高等学校総合文化祭 文芸部門
文芸部誌部門
「軌第21巻」 入選

- 詩部門
- 優秀賞 2D 佐々木 悠
 - 入選 3D 吉田 奈美
 - 入選 3B 菊池のぞ美
 - 入選 1C 菊池 彩木
- 短歌部門
- 入選 2D 伊藤由樹菜

〔吹奏楽部〕

全日本吹奏楽コンクール第49回岩手県大会
高等学校の部 銅賞



〔工学研究同好会〕

高校生ものづくりコンテスト2011
岩手県大会
電子回路組立部門
第2位 佐藤 祐太

〔生活研究同好会〕

フラワーアレンジメントコンテスト
岩手県予選会
金賞 鈴木 美咲



〔情報工学科〕

二級技能検定合格
電子機器組立て 池田 和広

〔ビジネス情報科〕

岩手県高等学校情報処理競技大会
団体の部 3位
個人の部 第3位 川村 勝也
優良賞 小田島直毅

〔総合生活科〕

いわて・秋さけ料理コンクール
優良賞 佐々木睦未



「さけとりんごのミルフィーユ仕立て」

〔教科〕

商業高校英語スピーチコンテスト
レシーションの部
優良賞 大林 志穂
奨励賞 外崎 里紗
イー歯トップ笑顔の写真コンテスト
学生の部 佳作 菅原 優芽
杉村 美咲

ホームページをご覧ください

花北青雲高等学校のホームページに同窓会のページがあります。

総会日程の案内、総会・懇親会の写真、同窓会報などの、会員みなさんに活動の様子をお知らせしております。ぜひご覧ください。

また、このページを通じて、会員みなさんにお知らせしたいことがあります。もしたら掲載を考えますのでご連絡ください。

寄稿・お便りをお待ちしております

会報の発行は毎年二月末を予定しております。会員の皆様からのご寄稿・お便りをお待ちしております。内容については、近況報告・在学中の思い出・同級会の様子など何でも構いません。

話題あふれる会報を作成したいと思えます。下記メールアドレスへどんお寄せください。

- ①花北青雲高校のホームページを開いて下さい。
- ②「同窓生の方」をクリックして下さい。

花北青雲高校 検索

お知らせ

同窓会では毎年、卒業記念品として卒業証書ホルダーを贈っております。

